

コミュニティ・スクール基盤整備事業

令和4年度A k i h a 教育懇談会報告

1 事業目的

個性を活かし持続可能な秋葉区を担う次世代を育てていくため、区内教育関係者を対象にした懇談会を開催する。

コミュニティ・スクールの全市展開の初年度にあたり、地域と学校が子どもたちを育てる当事者としての意識を高め、地域の教育力向上をはかるとともに、地域が教育に積極的にかかわる機運を醸成する。

2 日時 令和4年8月31日（水）13：30～16：20

3 会場 秋葉区文化会館 ホール・練習室

4 テーマ

未来を担う子どもの豊かな成長は「地域とともにある学校づくり」から
～学校と地域の連携で取り組むコミュニティ・スクールについて～

5 日程

【開会】

13：30 開会あいさつ（副市長、新潟薬科大学学長）

【第1部：講演会】（60分）

13：40 演題 『これからの時代の学校』～コミュニティ・スクールの可能性～
講師 文部科学省総合政策局CSマイスター 小西 哲也

14：40 移動・準備・休憩（15分）

【第2部：グループワーク】（45分）

14：55 テーマ「地域の子どもを育てる当事者として何ができるか」

15：40 移動

15：50 情報共有（2～3グループから発表してもらう）

16：05 講師による総括

【閉会】

16：15 閉会あいさつ（自治協議会会長）

16：20 解散

6 参加者

- ・区内の幼稚園、保育園、小学校、中学校（園長・校長・教頭・教諭等）
- ・区内の高校（新津、新津工業、新津南：各校長・教諭等）
- ・区内の地域教育コーディネーター
- ・新潟薬科大学（学長・副学長他）
- ・教育委員（秋葉区担当他）
- ・秋葉区役所（区長・課長他）
- ・区内のコミュニティ協議会
- ・自治協議会委員
- ・CS委員

7 講演会内容

(1) 講演会レジュメ

<p>2022.8.31</p> <p>AKIHA 教育懇談会</p> <p>於:秋葉区文化会館</p> <p>CS マイスター 小西哲也</p>	<p>「これからの時代の学校」 コミュニティ・スクールの可能性</p>	<p>これからの時代って?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 とは? ・ 2045 年問題
<p>1. 学校が求められていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変革の必要性 ・ 実現すべき課題 社会に開かれた教育課程 	<p>2. 子供の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の意識や現状 ・ 子どもたちを取り囲む世界 ・ デジタル時代に生きる 	<p>3. 子どもに求められる力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知スキル 非認知スキル ・ 起源 1996 教育改革の行方
<p>4. 大きい課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本が圧倒的世界一 29.1% ・ Win-Win ・ 地域貢献 ・ 大人の学び 	<p>5. モデル別にみる CS</p> <ul style="list-style-type: none"> A. 子ども成長モデル B. 学校課題解決モデル C. 教師力向上支援モデル D. 地域活性化モデル ・ 学校は誰のもの? 	<p>6. まとめ</p>

(2) 講演要旨

これからの時代は、地域でいかにつながっていくか、つながる力を学校でどのように育てていくかが問われている。そのために子どもたちに必要な力は何かといった目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校への転換が必要である。社会の変化と子どもの現状の変化、子どもが獲得すべき力をみんなで共有して、地域に根付いたカリキュラムをつなげて子どもたちを育てていくしくみがコミュニティ・スクール。授業は地域の文化、学校は地域の教室と考える。地域でカリキュラムをもってみんなで楽しく学べるしくみをつくっていくことがコミュニティ・スクールの醍醐味である。

8 参加者アンケート結果

※アンケート回収数 87 のうちの割合 (%)

	よく理解 できた	だいたい 理解でき た	あまり理 解できな かった	理解でき なかった
①学校運営協議会制度について、理解できましたか？	42.5	49.4	5.7	1.1
②コミュニティ・スクールを充実させるための重要なポイントが理解できましたか？	44.8	49.4	5.7	0.0
	大いに そう思う	おおむね そう思う	あまり 思わない	思わない
③講演等を聞いて、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進しようと思いましたが？	63.2	36.8	0.0	0.0
④地域総がかりで子どもたちを育てる具体的なアイデアを得ることができましたか？	46.0	51.7	2.3	0.0
⑤子どもたちの教育を担う秋葉区の一員として、自分にできることがあると思いましたが？	41.4	52.9	3.4	0.0

【自由記述】

- 楽しく話し合うことができました。地域の方が学校で楽しく活動できることがキーになると思いました。
- 今回のやり方はいい。
- すばらしいお話でした。地域や学校でワクワクできるような活動ができるといいなと思います。
- 地域に開かれた学校というより、地域と一体化した学校をつくっていくことが、子どもの学びにつながる、という視点が新鮮でした。変化が激しい社会の中で”生き抜く力”を育てるための教育を形づくっていくために何ができるか考える機会となりました。
- 講演も協議も大変参考になりました。
- 大変刺激的なグループワークでした。講演の内容も背中を押されるようなものでした。会場準備を含めたこれまでの運営、お疲れさまでした。ありがとうございました。
- 大人の探究心を社会全体で喚起することが大切だと思いました。
- すばらしい会を開催してくださり、秋葉区役所の担当者様に感謝申し上げます。
- 自分が地域貢献をしていく上で、まず自分が楽しみながらプラス思考で無理なく続けることができることが大切と思った。そして、地域にも積極的に声をかけ、子どもの本物の姿を見せながら地域総がかりで子どもを育てていきたいと思った。小西先生からは豊富なデータを基にして、貴重なお話をいただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。
- CSのイメージをもつだけでなく、夢がふくらむ研修会でした。具体化するには課題はまだありますが、まずは「楽しむ」ことを大切に進めていきたいと思いました。ありがとうございました。
- コミュニティ・スクールの進め方について、様々なアイデアを得ることができました。コミュニティ・スクールはアプローチの仕方ですいろいろな可能性があると思います。報告中心の形式的な会にならないよう、工夫していきたいと思います。

- 小西先生のお話、とても分かりやすかったです。グループワークでは「未来の地域の担い手を育成する」、「地域の教育力向上」について話し合いました。いつもお世話になっている顔見知りの方ばかりでしたが、観点を明確にもつことで、いつもとは違う少し深掘りした意見を交流することが新鮮でした。発表した方と似ていますが、まずは子どもを交えて話し合ったり、子どもが提案したことについて小さなことでも実現していけることがあると、地域への思いがぐっと深まると思いました。明日からの実践に生かしていきたいです。ありがとうございました。
- 新しいアイデアはもちろん、既存の教育活動のねらい、成果を見直したいと思います。
- とても価値のある研修会でした。ありがとうございました。
- 今日はよい刺激をたくさんいただきました。人とつながる力の大切さを十分に感じました。
- いろいろなお立場の方と教育について率直に意見交流をし、大変刺激をいただいた。コミュニティ・スクール運営に大いに役立った。
- コミュニティ・スクールの重要性がわかりました。
- ボランティアポイント「商店とのコラボ」がよいアイデアだったと思う。
- グループワークのメンバーが地域の方だったので、即、明日につながる話し合いができ、元気をいただきました。思いを共有できる方を増やし、ワクワクが継続できるよう、具体的に動いていくことの大切さを改めて実感できました。
- 私自身、小学校のCS協議会会長をしていますが、役割の入り口が見えてきた気がします。学校・地域・家庭が共働で子どもたちの育成をしていきたいと思えます。
- CSについて漠然とした考えしかもっていなかったが、具体的なことを聞いたりグループワークで話し合いできて、少し理解が深まった。これからは委員として、皆で話し合いをして実施する希望がもてた。
- 久しぶりの「つながり」に感動しました。ありがとうございました。
- 初めてのことに挑戦するのは難しいと思いますが、皆で知恵と力を出し合って、気持ちを込めて取り組んで、子どもたちに人と関わることの楽しさを伝えたい。各分野のこれだけの方々が集まって、この研修会ができたことは有意義でした。ムダにしたいと思いません。
- 小西先生のお話はとっってもすっきり分かりやすく、データを取り入れられたいいお話でよかったです。第二部のグループワークは、新しい試みで、楽しくいろいろ多方面からの視点から、テーマに沿った話ができよかったです。
- 小西先生の講演から様々なヒントをいただきました。
- 学校運営協議会は、学校評議員とどう違うか、その辺のところをもう少しわかりやすくできたらよかったと思う。地域教育コーディネーターの皆さんの位置付けは、今後どう変わっていくのだろうかとも思いました。関係各位の皆様、ご苦勞様でした。
- 自分ができることを学校を通し積極的に参加し、貢献していきたいと思っています。地域、地元への恩返しを！
- Akih a 教育懇談会の広がり期待しながら、わくわくな当事者でありたいと思えました。秋葉区の未来にバンザイ
- 学校評議員会よりもCSの方が主体的に動くことが意識づけられた。地域との結びつきで学校が盛り上がるができると思うので、CSが企画できるとよいと思う。
- なぜコミュニティ・スクールが必要か、時代の流れとともにあることがよくわかりました。まだ始まったばかりですが、まずは大人が子どものように楽しみましょう。今回、新たな種をまかれていったと思います。
- グループワークで柱を決めて意見交換ができた。新しい視点があることに気づき、「なるほど！」という具体策、例がわかり、とてもよかったです。講師の先生の講話の中でSociety 5.0の話があり、時代を先へ先へと進んでいることがわかり、流れが速く、今後さらに加速していくのだろうと思った。
- 今日の研修内容を、一人でも多く伝えていきたい。
- 楽しかったです。ありがとうございました。

- 貴重な講演ありがとうございました。これからののびしろと期待を込めて” おおむねそう思う” に○をしました。課題や問題はありますが、少しずつ一步一步進めていけたらと思います。
- CSの先進地域でこれを進める上で問題もあったと思い、その対応など聞けたらさらに良かった。教育関係者が一堂に会し、懇談会やグループワークできたのは良かった。日本の教育は現在諸外国に比べてかなり遅れており問題も多いと思われる。CSはそれを解決する一つの手法であるが、教育行政の中での位置付けがわかると尚良かった。最後の講評・総括は感動でした。
- 学校を拠点として大人の学びの場をつくり、小さな一步を踏み出したいと思いました。
- コーディネーターとして学校に関わる中で、まさに感じていた問題（学校が求められている変革、子どもに求められるカー非認知スキル）たくさん聞くことができました。グループワークでもとても参考になる考え方に触れることができました。地域について子どもたちと考えていく流れをつくっていきたいと思いました。
- 講師の方の話も分かりやすく、スライドもうまく使われていたと思います。いろいろアイデアをいただけたと思います。グループワークも皆熱心に参加できたと感じました。
- こんな活動ができたらいいなというイメージを見ることができました。まずはやってみるという気持ちで、「楽しい」を探していきたいと思います。貴重なお話が聞けました。感謝いたします。
- 地域の人、PTA、保護者のボランティア協力は難しい課題であるので、ぜひコミセンの協力をお願いしたい。活動等の報告や情報提供はできるので、ぜひコミセンで機会をつくっていただき、町内に知ってほしいと考えました。
- 地域の人と子どもたちが教室で英会話を学ぶのは非常に良いと思うが、決められた学習時間（年間）の中で、そういう時間が取れるのでしょうか。（正規な学習とは違う時間が取れるか？）可能ならぜひやってみたいと思う。
- 小西先生よりこの課題を考える際に役立つキーワードをたくさんいただきました。考え方も教えていただきました。ありがとうございました。Society 5.0のムービーは目からウロコでした。ラストの小学校のムービーも感動的でした。
- 子ども・大人の成長は、家庭・地域が一体となり地域愛が必要と感じた。
- グループワークはとても活発にできました。この少人数での話し合いはよろしいかと思いません。えんたくんは成功ですね。最後の「地域愛」は私もいただきました。
- コミュニティ・スクールの活動状況など教えていただきたい。
- 子どもたちが地域を学ぶ機会ばかりではなく、大人も一緒に学ぶことができればいいですね。
- 小西先生の講演、” つながる力” を育てることがいかに大事かよくわかりました。素晴らしい方を招聘したと思います。もっとお話をお聞きしたいです。” 地域とともにある学校” をつくっていくことを考えると、わくわくする気持ちがわいてきました。そんな前向きな心持ちになれた懇談会でした。我が区でもこのような会が実施できたらと思います。準備に関わった方々、本当にお疲れさまでした。
- とてもよい経験をさせていただきました。「地域の大切さ」を改めて感じた会でした。
- 秋葉区の皆さんの熱意を強く感じました。小西先生のお話はとても分かりやすく、具体的な例をもとにCSのあるべき姿を示していただきました。本日は参加させていただきありがとうございました。関係の皆様、大変お疲れさまでした。
- 小西先生の講演では、これからの学校のあり方、コミュニティ・スクールが生み出す可能性を、日本（人）の特性と関連づけてわかりやすく説明していただき、勉強になった。グループワークでは、居住地の地域の様々な立場の方々と、学校と地域の結びつきについて話すことができ、とても新鮮な経験となった。
- 校種、職種、地域、専門分野で分断されるのではなく、こうして大人が教育という観点で語り合える場が必要だと切に感じました。本日は貴重な会をありがとうございました。小規模でも継続していけるとよいと思いました。

- 地域の方々が様々な視点からコミュニティ・スクールについて意見を出し合っており、秋葉区をよりよくしたいという気持ちを感じた。また「えんたくん」を用いた活動は、一覧性に優れており、スムーズな議論のカギとなっていたため参考にしたい。
- えんたくんを使ったグループワークによって、地域の代表者の方々の間で、子どもや地域のための活発な意見交換ができており、このような教育懇談会によって、秋葉区の良さを感じることができた。この教育懇談会のように、生徒とも意見交換ができる場が設けられると、より地域とのつながりが生まれて活性化していくと感じた。
- コミュニティ・スクールの目指すところが少し理解できました。
- コミュニティ・スクールについての解説があまりなく、理解が難しかった。

令和4年度
コミュニティ・スクール基盤整備事業
Akihara教育懇談会
第2部グループワーク実績報告書

令和4年9月
特定非営利活動法人みらいず works

1 実施概要

(1) 概要

日 時：2022/8/31（水） 13:30～16:20

会 場：秋葉区文化会館

参加者数：127名（うち教員68名、その他59名）

内 容：教育懇談会にてコミュニティスクールのスタートにあたり、地域と学校が子どもたちを育てる当事者としての意識を高め、地域の教育力向上をはかるとともに、地域が教育に積極的にかかわる機運を醸成することを目的とし「地域の子どもを育てる当事者として何ができるか」についてグループワークを実施する。

(2) プログラム

【第2部：グループワーク】（45分）

14：55 やり方説明




グループワーク テーマ「地域の子どもを育てる当事者として何ができるか」

15：40 移動

15：50 情報共有（2～3グループから発表してもらう）

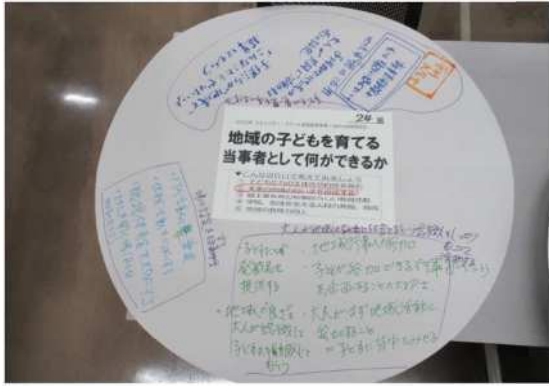
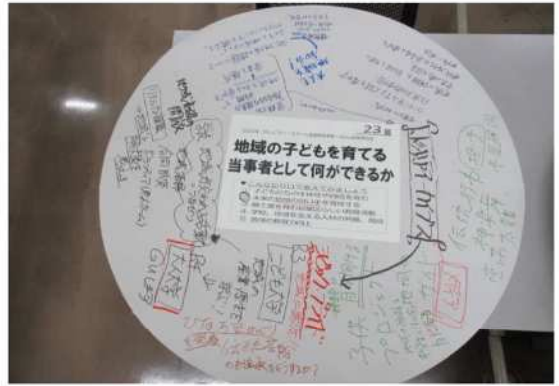
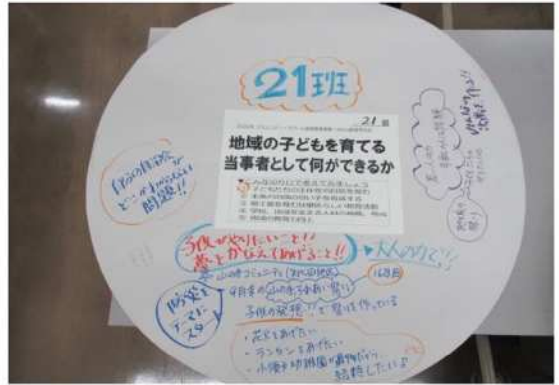
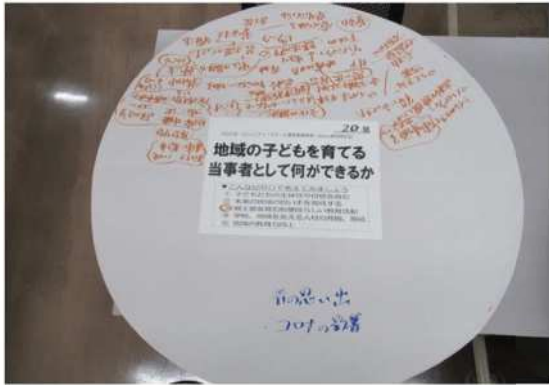
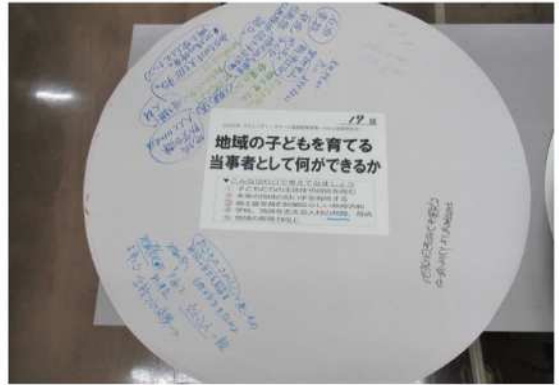
2.実施報告

(1) やり方の説明 (資料)

 <p>未来を担う子どもの豊かな成長は「地域とともにある学校づくり」から～学校と地域の連携で取り組むコミュニティ・スクールについて～</p> <p>みらいず works</p> <p>文部科学省CSマイスター NPO法人 みらいずworks 小見まいこ 瀬倉隆博</p>	<p>グループワークのテーマ</p> <h1>地域の子どもを育てる 当事者として 何ができるか</h1>
<p>本日の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① グループ内で自己紹介 ② テーマリストの中から話し合うテーマを選ぶ ③ グループワーク ④ 収束カードにまとめる ⑤ ホール客席に移動して、発表 	<p>テーマリスト</p> <h2>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの主体性や自信を育む ・未来の地域の担い手を育成する ・郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動 ・学校、地域を支える人材の発掘、育成 ・地域の教育力向上
<p>本日の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① グループ内で自己紹介 ② テーマリストの中から話し合うテーマを選ぶ ③ グループワーク ④ 収束カードにまとめる ⑤ ホール客席に移動して、発表 	<p>収束カード</p> <p>2022年 コミュニティ・スクール推進コンクール・NPO法人賞受賞発表</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの主体性や自信を育む ・未来の地域の担い手を育成する ・郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動 ・学校、地域を支える人材の発掘、育成 ・地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記に記入ください</p>
<p>グループワークのエチケット</p> <ul style="list-style-type: none"> 💡 今日話し合われたことは、この場限りにする 💡 自分と違う意見を否定せず、よく聞いてみる 💡 話しすぎない、みんなの時間を意識する 	<p>えんたくんへのメモの取り方</p> <p>共通のメモ用紙、落書きするように、四方八方からメモします</p> <p>付箋紙を使って、アイデアを書き出してよいです</p> <p>書くことより、話すことが大事！でも、メモしておく、まとめの時に役立ちます</p> 

(2) グループワークの様子





(4) 収束カード 記録

<p>2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAH事務局発行</p> <p>1 地区メンバー名: 間嶋 北・山口、東村</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自覚を育む 子どもの地域の思いや意見を尊重する 郷土愛を育む地域ならではの教育活動 学校、地域を元気づける人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>① 背中を見せる人(高齢者、PTA)とキャッチするための工夫 ex. 商店街とコラボしたお得な声かけ (目的は人材発掘)</p> <p>② つながりやすい町内会と地域PTA(小、中学生含む)をつなぐ</p> <p>③ 自発的なボランティア人材(子ども)の育成 学校 → 課題をのっけ、行動する、しるすを評価される、する。ほめて、褒められての伸ばす、自己肯定感の醸成。 先生をほめる</p>	<p>2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAH事務局発行</p> <p>2 地区メンバー名: 川合先生 大塚さん 蓮沼さん 春日さん</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自覚を育む 子どもの地域の思いや意見を尊重する 郷土愛を育む地域ならではの教育活動 学校、地域を元気づける人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>担い手はいるのです!!</p> <p>学校の敷居をなくすために決山のきっかけづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアルームに入ってもらおうアピールを行う つるしびな折り紙、飲食、休み時間なら大きな音も有。なんでもやってみる。子ども思わず入りたい部屋にする。 3年間我慢している、今がチャンスだ!!
<p>1班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●背中を見せる人(高齢者、PTA)をキャッチするための工夫 Ex: 商店街とコラボしたお得な声かけ (目的は人材発掘) ●つながりやすい町内会と地域PTA(小、中学生含む)をつなぐ ●自発的なボランティア人材(子ども)の育成 <p>学校→課題を見つける、行動する、自慢する、評価される、する。ほめて、褒められての伸ばす、自己肯定感の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先生をほめる 	<p>2班</p> <p>担い手はいるのです</p> <p>学校の敷居をなくすためにたくさんのきっかけづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアルームに入ってもらおうアピールを行う ●つるしびな折り紙、飲食、休み時間なら大きな音も有。なんでもやってみる。子ども思わず入りたい部屋にする。 ●3年間我慢している、今がチャンスだ!
<p>2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAH事務局発行</p> <p>3 地区メンバー名:</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自覚を育む 子どもの地域の思いや意見を尊重する 郷土愛を育む地域ならではの教育活動 学校、地域を元気づける人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ●祭り、地域行事の活性化 ●「地域を知る」活動(学校)総合学習 ↓ 学習したことをフィードバックしていく取組 ●地域の方が気軽に学校に来る仕組みづくり 	<p>2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAH事務局発行</p> <p>4 地区メンバー名:</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自覚を育む 子どもの地域の思いや意見を尊重する 郷土愛を育む地域ならではの教育活動 学校、地域を元気づける人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域課題を小学生・中学生(高校生・大学生・地域住民が話し合い、解決を探る場を設ける) ② 子どもの居場所を設ける話し合いをする 新開高校生PIC ③ 学校に入りやすい環境作りをする (お花、美術、手芸品、作品を展示してもらう) メディアを使って情報発信
<p>3班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●祭りや防災訓練などを通してみんなが役割・出番を作っておける ●「地域を知る」活動→学習したことをフィードバックしていく取組(学校:総合学習、地域:秋葉区の特徴) ●地域の方が気軽に学校に来る仕組みづくり 	<p>4班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域課題を小学生・中学生・高校生(新津高校を中心に)・大学生・地域住民で話し合い、解決を探る場を設ける ●子どもの居場所を設ける話し合いをする ●学校に入りやすい環境づくりをする(お花、美術、手芸品、作品を展示してもらう。メディアを使って情報発信)

2022年 コミュニティ・スクール運営協議会事務局・Aha!教育開発部

5 地区別一斉

地域の子どもを育てる当事者として何ができるか

▼こんな切り口で考えてみましょう

・子どもたちの主体性や自信を育む
・学校、地域を支える人材の育成、育成
・未来の地域の担い手を育成する
・郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

○地域のなかでつなげる場所 学校 コミセン 自然と学校やコミュニティ
○地域行事、祭りの活性化
○子どもたちが地域を知る→好きになる活動学習
○中高生がおとなと関わる、意見交換する場や時間

5班

- 地域の方々がつなげる場所（学校、コミセン、なんとなく自然に行っかかかわるようなところ）
- 地域行事、祭りの活性化
- 子どもたちが地域を知る→好きになる活動学習
- 中高生がおとなと関わる、意見交換する場や時間

2022年 コミュニティ・スクール運営協議会事務局・Aha!教育開発部

6 地区別一斉

地域の子どもを育てる当事者として何ができるか

▼こんな切り口で考えてみましょう

・子どもたちの主体性や自信を育む
・学校、地域を支える人材の育成、育成
・未来の地域の担い手を育成する
・郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

・学校からの発信の継続
・地域と学校とのコラボ活動 Win-Win
・人脈・機関の活用

大人も楽しむプラス思考
愛のシャワーで子どもを包む 大人の姿を見せる
↓
未来の担い手を育成

6班

- 学校からの発信の継続
- 地域と学校とのコラボ活動
- 人脈・機関の活用

大人も楽しむプラス思考
(愛のシャワーで子どもを包む、大人の姿を見せる→未来の担い手を育成)

2022年 コミュニティ・スクール運営協議会事務局・Aha!教育開発部

7 地区別一斉 菅野、安部、大島、藤田

地域の子どもを育てる当事者として何ができるか

▼こんな切り口で考えてみましょう

・子どもたちの主体性や自信を育む
・学校、地域を支える人材の育成、育成
・未来の地域の担い手を育成する
・郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

・秋葉区は人材の宝庫
・学校・生徒の要望がある人材マッチングが大事
・自分の将来や進路に合っていると興味をもってもらえる
・学校でやったことが地域に広がっていく ex 歴史講座…コミセンでも開催

7班

- 秋葉区は人材の宝庫
- 学校・生徒の要望がある人材マッチングが大事
- 自分の将来や進路に合っていると興味をもってもらえる
- 学校でやったことが地域に広がっていく ex 歴史講座…コミセンでも開催

2022年 コミュニティ・スクール運営協議会事務局・Aha!教育開発部

8 地区別一斉

地域の子どもを育てる当事者として何ができるか

▼こんな切り口で考えてみましょう

・子どもたちの主体性や自信を育む
・学校、地域を支える人材の育成、育成
・未来の地域の担い手を育成する
・郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

①学校単位で運営協議会を設立する
②地域の皆で運営することの意志統一
③子どもたちにとっておもしろい内容、郷土愛を育むカリキュラムを設定する

8班

- 学校単位で運営協議会を設立する
- 地域の皆で運営することの意志統一
- 子どもたちにとっておもしろい内容、郷土愛を育む、カリキュラム設定

<p>2022年 コミュニティ・スクール推進部主催・AFA協賛教育発表会</p> <p>9 班 ユニバーズ 渡辺 美穂、湯田 幸菜、上村 修</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自信を育む 未来の地域の担い手を育成する 郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動 学校、地域を支える人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>★ 大人のための部活動～学びの場～ ① 花・楽器 いろいろな世代で継続的に活動 ② 秋葉区の特長を生かした教育活動 ③ 秋葉山、坂口守吾 ★</p>	<p>2022年 コミュニティ・スクール推進部主催・AFA協賛教育発表会</p> <p>11 班 ユニバーズ</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自信を育む 未来の地域の担い手を育成する 郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動 学校、地域を支える人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>○ 学校が、地域貢献や校内への地域の方の受け入れを増やす ○ CSで 多様な年齢の方が協働する場を提供する 地域での思い出づくり、人のつながりづくりをいかに増やすか</p>
<p>9 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大人のための部活動、学びの場 (花・楽器・いろいろな世代で継続的に活動) ● 秋葉区の特長を生かして教育活動 	<p>11 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校が地域貢献や校内への地域の方の受け入れを増やす ● CSで多様な年齢の方が協働する場を提供する <p>地域での思い出づくり、人のつながりづくりをいかに増やすか</p>
<p>2022年 コミュニティ・スクール推進部主催・AFA協賛教育発表会</p> <p>12 班 ユニバーズ 菅川 渡辺、小林</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自信を育む 未来の地域の担い手を育成する 郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動 学校、地域を支える人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>① 地域の財産を学校教育の場に提供する ・物的財産～地域の特徴としての「水」の学習 ・人的財産～高齢者(モノづくりの達人)を活かした学習 ② 人的財産の発掘(コーディネーターやコミ協が活躍) ③ 企画段階から学校と地域が協議</p>	<p>2022年 コミュニティ・スクール推進部主催・AFA協賛教育発表会</p> <p>13 班 ユニバーズ</p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性や自信を育む 未来の地域の担い手を育成する 郷土愛を育む秋葉区らしい教育活動 学校、地域を支える人材の育成、育成 地域の教育力向上 <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>・ 地域の担い手を育成するために… コミュニティ協議会間のイメージの共有(情報を密にし良さを共有する) 地域の歴史や伝統を学ぶこととベースとなる 異年齢のつながりをたやさない 伝統だけでなく、企業を立ち上げる新しいビジネスチャンスが生まれるような学習の機会がほしい</p>
<p>12 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の財産を学校教育の場に提供する <p>物的財産：地域の特徴としての「水」の学習 人的財産：高齢者(モノづくりの達人)を活かした学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人的財産の発掘(コーディネーターやコミ協が活躍) ● 企画段階から学校と地域が協議 	<p>13 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の担い手を育成するために… <p>コミュニティ協議会間のイメージの共有(情報を密にし良さを共有する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の歴史や伝統を学ぶことがベースとなる ・ 異年齢のつながりをたやさない ・ 伝統だけでなく企業を立ち上げる新しいビジネスチャンスが生まれるような学習の機会がほしい

<p>2022年 コミュニティ・スクール推進型授業・Alpha教育実践</p> <p>14 班 <u>藤田 高永 中森 高祐</u></p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <p>・子どもたちの主体性や自律を育む ・学校、地域を支える人材の育成、育成 ・未来の地域の創り手育成する ・地域の教育力向上</p> <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>◎小・中・高・大・地域が連携して 企画から関わって取り組む →主体性 自信 関わり</p> <p>地域小単位、地域で考える 地域の魅力再発見! 子供の取組を通して親世代を巻き込んでいく</p> <p>◎学校の公民館化。 楽しくなければ一緒にやってみる</p>	<p>2022年 コミュニティ・スクール推進型授業・Alpha教育実践</p> <p>15 班 <u>田村 森田 大竹 潤</u></p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <p>・子どもたちの主体性や自律を育む ・学校、地域を支える人材の育成、育成 ・未来の地域の創り手育成する ・地域の教育力向上</p> <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>・子どもが地域の一員として考えたことをみんなで話し合い実行する場をつくる。 ・ちょっと先の未来のまちづくりにについて考える ・体験を身にしみこませる</p>
<p>14 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小中高大地域が連携して企画関わって取り組む <p>地域のことは地域で考える「地域の魅力再発見!」こどもの取り組みを通して親世代を巻き込んでいく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校の公民館化、楽しくなければ一緒にやってみる 	<p>15 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもが地域の一員として考えたことをみんなで話し合い実行する場をつくる ●ちょっと先の未来のまちづくりにについて考える ●体験を身に染み込ませる
<p>2022年 コミュニティ・スクール推進型授業・Alpha教育実践</p> <p>17 班 <u>荒井 青木 上田 後藤</u></p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <p>・子どもたちの主体性や自律を育む ・学校、地域を支える人材の育成、育成 ・未来の地域の創り手育成する ・地域の教育力向上</p> <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>・地域とのつながりは大切。行事や活動への参加を促す。 ・子どもの声を聞く機会(対面・アンケート)を設ける ・コミセンで3校の情報交換の場を設け協議 子どもの声を共有し解消に向けて地域住民の協力を得る</p>	<p>2022年 コミュニティ・スクール推進型授業・Alpha教育実践</p> <p>19 班 <u>荒井 青木 上田 後藤</u></p> <p>地域の子どもを育てる当事者として何ができるか</p> <p>▼こんな切り口で考えてみましょう</p> <p>・子どもたちの主体性や自律を育む ・学校、地域を支える人材の育成、育成 ・未来の地域の創り手育成する ・地域の教育力向上</p> <p>▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください</p> <p>①新津丘りょう、里地里山のよさ。 ②ないものを求めない、あるものを大切に 秋葉区のよさ再発見、教育活動 ③文化性の高い活動 学校と地域が合同で文化的行事を行う。</p>
<p>17 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域とのつながりは大切、行事や活動への参加を促す ●子供の困った声を聞く機会(対面・アンケート)を設ける ●コミセンで3校の情報交換の場を設け協議 <p>子どもの声を共有し解消に向けて地域住民の協力を得る</p>	<p>19 班</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新津丘りょう、里地里山のよさ ●ないものを求めない、あるものを大切に 秋葉区のよさ再発見、教育活動 ●文化性の高い活動、学校と地域が合同で文化的行事を行う

2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAの教育委員会

20 地区別活動

地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか

▼こんな切り口で考えてみましょう

- 子どもたちの主体性や自信を育む
- 未来の地域の担い手を育成する
- 郷土愛を育む(学区区らしい)教育活動
- 学校、地域を支える人材の育成、育成
- 地域の教育力向上

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

・その中その地域の文化を伝える
 ・お茶づくりの歴史発掘、植物薬効探し
 ・思い出マップづくり(資料の整理)

20 班

- それぞれのまつりの文化を伝える
- お茶づくりの歴史発掘、植物薬効探し
- 思い出マップづくり

2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAの教育委員会

21 地区別活動

地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか

▼こんな切り口で考えてみましょう

- 子どもたちの主体性や自信を育む
- 未来の地域の担い手を育成する
- 郷土愛を育む(学区区らしい)教育活動
- 学校、地域を支える人材の育成、育成
- 地域の教育力向上

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

◎子供がやりたいこと、夢をかなえてあげること、を大人が応援する!!
 祭りや防災訓練などをあつめて、みんなが役割・出演を作てあげる!
 (コミュニティ協、商工会、学校cecc)

21 班

- 子どもがやりたいこと、夢をかなえてあげること、を大人が応援する
- 祭りや防災訓練を通して役割、出演を作てあげる

2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAの教育委員会

22 地区別活動

地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか

▼こんな切り口で考えてみましょう

- 子どもたちの主体性や自信を育む
- 未来の地域の担い手を育成する
- 郷土愛を育む(学区区らしい)教育活動
- 学校、地域を支える人材の育成、育成
- 地域の教育力向上

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

① 外に飛び出す活動(防災訓練)
 ② オンラインの活用
 ③ 内気な子の表現の保障

22 班

- 外に飛び出す活動 (防災訓練)
- オンラインの活用
- 内気な子等の表現の保障

2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAの教育委員会

23 地区別活動

地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか

▼こんな切り口で考えてみましょう

- 子どもたちの主体性や自信を育む
- 未来の地域の担い手を育成する
- 郷土愛を育む(学区区らしい)教育活動
- 学校、地域を支える人材の育成、育成
- 地域の教育力向上

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

シビック・プライド ~地域に誇りを!!~
 ・歴史・伝統の継承 → 保存、こども大学!
 ・学校課題が合同で取組! 地域課題をいっしょに解決する!
 発信 ← 「こども」子ども

23 班

- シビック・プライド、地域に誇りを
 - 歴史・伝統の継承→保存、こども大学
 - 学校課題を一緒に解決する
- 地域の魅力とトリビアを発信「こどもに」「こどもが」

2022年 コミュニティ・スクール推進協議会事務局・AFAの教育委員会

24 地区別活動

地域の子どもを育てる当事者として何が出来るか

▼こんな切り口で考えてみましょう

- 子どもたちの主体性や自信を育む
- 未来の地域の担い手を育成する
- 郷土愛を育む(学区区らしい)教育活動
- 学校、地域を支える人材の育成、育成
- 地域の教育力向上

▼当事者としてできるアイデアを最大3つに絞って、下記にご記入ください

子どもの意見を取り上げる
 大人が地域の子どもたちと育つという意識をしっかりと持ち活動する
 子どもたちが活動できる場を設定する

←24 班

- 子どもの意見をすいあげる
- 大人が地域の子どもたちを育てると意識をしっかりと持って活動する
- 子どもたちが活動できる場を設定する

(5) 「地域の子どもを育てる当事者として何ができるか」収束シートのまとめ

●学校と地域の協働へ向けた意識の統一をはかる

- ・大人が地域の子どもたちを育てるという意識をしっかりと持って活動する
- ・大人も楽しむプラス思考(愛のシャワーで子どもを包む、大人の姿を見せる→未来の担い手を育成)
- ・企画段階から学校と地域が協議
- ・地域のみんなで運営することの意思統一
- ・地域と学校とのコラボ活動
- ・コミュニティ協議会間のイメージの共有(情報を密にして良さを共有する)
- ・学校単位で運営協議会を設立する

●子どもの声を聞き、思いを実現する場をつくる

- ・子どもの困った声を聞く機会(対面、アンケート)を設ける
- ・地域課題を小学生・中学生・高校生(新津高校を中心に)・大学生・地域住民で話し合い、解決を探る場を設ける
- ・子どもの居場所を設ける話し合いをする
- ・子どもがやりたいこと、夢をかなえてあげて大人が応援する
- ・コミセンで3校の情報交換の場を設け、協議。
子どもの声を共有し、解消に向けて地域住民の協力を得る
- ・子どもの意見を吸い上げる
- ・子どもたちが活動できる場を設定する
- ・子どもが地域の一員として考えたことをみんなで話し合い実行する場をつくる
- ・中高生がおとなと関わる、意見交換する場や時間

●学校が地域を受け入れる仕組みや仕掛けを考える

- ・学校に入りやすい環境づくりをする(お花、美術、手芸品、作品を展示してもらおう。メディアを使って情報発信)
- ・ボランティアルームに入ってもらおうアピールを行う、つるしびな折り紙、飲食、休み時間なら大きな音も有。なんでもやってみる。子ども思わず入りたい部屋にする。
- ・地域の方が気軽に学校に来る仕組みづくり
- ・学校の「公民館化」(楽しくなければ、一緒にやってみる)
- ・学校からの発信の継続
- ・学校が地域貢献や校内への地域の方の受け入れを増やす

●地域の魅力/資源を教育活動と連携させることで子どもの育ちも地域づくりも活性化

- ・歴史、伝統の継承（保存会、子ども大学、学校地域が合同で取り組み、地域課題を一緒に解決する）
- ・外に飛び出す活動（防災訓練）
- ・子どもたちにとっておもしろい内容、郷土愛を育む、カリキュラムを設定する
- ・地域の魅力とトリビアを子どもに子どもが発信
- ・「地域を知る」活動→学習したことをフィードバックしていく取り組み（学校：総合学習、地域：秋葉区の特徴）
 - ・それぞれのまつりの文化を伝える・お茶づくりの歴史発掘、植物薬効探し・思い出マップづくり
 - ・地域の財産を学校教育の場に提供する（物的財産：地域の特徴としての水の学習、人的財産：高齢者（ものづくりの達人）を活かした学習）
 - ・子どもたちが地域を知る→好きになる活動学習
 - ・学校、生徒の要望がある人材のマッチングが大事
 - ・文化性の高い活動（学校と地域が合同で文化的行事を行う）
 - ・秋葉区の特徴を生かした教育活動（秋葉山、坂口安吾）
 - ・自分の将来や進路に合っていると興味を持ってもらえる
 - ・祭りや防災訓練などを通してみんなが役割・出番を作っている
 - ・背中を見せる人（高齢者、PTA）をキャッチするための工夫
Ex：商店街とコラボしたお得な声かけ（目的は人材発掘）
 - ・地域行事、祭りの活性化　・体験をみに染み込ませる
 - ・地域とのつながりは大切、行事や活動への参加を促す　・地域の歴史や伝統を学ぶことがベースになる
 - ・伝統だけでなく、企業を立ち上げる新しいビジネスチャンスが生まれる学習の機会があると良い
 - ・秋葉区に残る文化財を活用（小戸下組の無形民族文化財、ししまい）
 - ・秋葉区小合の学ぶ環境づくり（チューリップ、クリスマスローズ、ハーブをつくる体験）
 - ・教育環境を生かした郷土愛を深める（里山、薬科大、もち麦レシピ）
 - ・新津丘陵（里地里山のよさ）
 - ・地域での思い出づくり、人のつながりづくりをいかに増やすか
 - ・学校でやったことが地域に広がっていく（歴史講座：コミセンでも開催）

●多世代のつながり醸成することで地域や未来の担い手を増やす

- ・秋葉区は人材の宝庫
- ・人的財産の発掘（コーディネーターやコミ協が活躍）
- ・人脈・機関の活用
- ・異年齢のつながりを絶やさない
- ・地域の方々がつなげる場所（学校、コミセン、なんとなく自然に行ってかかわるようなところ）
- ・子どもの取り組みを通じて親世代を巻き込んでいく
- ・つながりあい町内会と地域PTA（小、中学生含む）をつなぐ
- ・自発的なボランティア人材（子ども）の育成

学校 → 課題を見つける、行動する、自慢する、評価される、する。ほめて、褒められての伸ばす、自己肯定感の醸成

- ・小中高大地域が連携して企画から関わって取り組む（地域に出て、地域で考える、地域の魅力再発見！）
- ・大人のための部活動～学びの場～（花、楽器、いろいろな世代で継続的に活動）
- ・CSで多様な年齢の方が「協働」する場を提供する
- ・ちょっと先の未来のまちづくりについて考える
- ・ないものを求めない、あるものを大切に（秋葉区のよき再発見、教育活動）

●その他

- ・オンラインの活用
- ・内気な子などの表現の保障

(6) 担当者所感

- ・コミュニティ・スクールを契機とし、多様な立場の秋葉区民が対話することで、人づくり、地域づくりへの当事者意識が高まった。
 - ・学校、コーディネーター、地域住民、行政関係者が一堂に会し、学び、対話をすることで、秋葉区としてコミュニティ・スクールを推進する機運が醸成された。
- 今後このような対話の場が地域ごとに継続的に開催され、CSに関わる人たちが前向きに参画するようになること、またそれが子どもたちにとっても良いものとなることを期待する。